

新商品！ 2015-10

最下階合流用通気継手

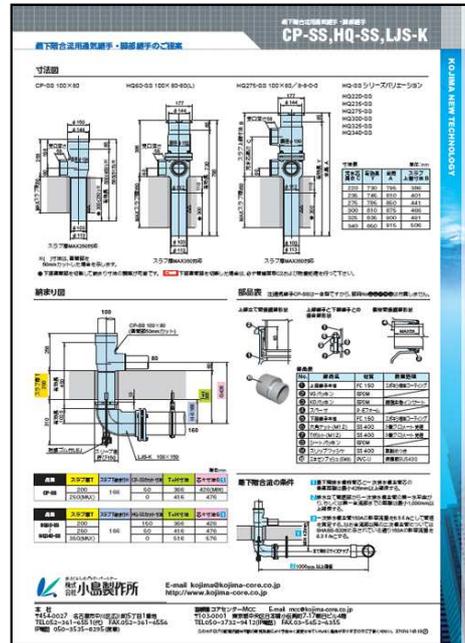
パンフレット発行

最下階合流時のスラブ下の納まりを改善するために新開発！
 中間階はCPジョイントを施工、最下階は”最下階合流用脚部継手LJS-K100×150”と、”最下階合流用通気継手CP-SS”をセットで施工することによって、「最下階排水の立て管合流システム」としてスラブ下納まり寸法166mmを可能にしました。
 高排水性能を維持したまま、納まり寸法166mmを実現したコンパクト&パワフルな継手です。

最下階合流の条件も更新されております。以下でご確認ください。

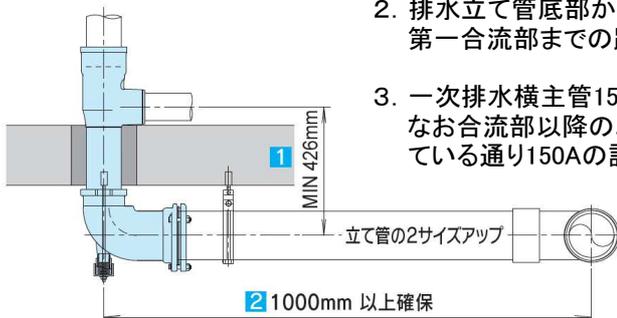
●最下階合流用通気継手パンフレット 

パンフレットのPDFデータをダウンロードできます。
 DC24にアップロードも完了しています。必要の場合はそちらもご利用下さい。



最下階合流の条件

1. 最下階排水横枝管芯と一次排水横主管芯の垂直距離は最小426mm以上確保する。
2. 排水立て管底部から一次排水横主管の第一水平曲がり、もしくは第一合流部までの距離は最小1,000mm以上確保する。
3. 一次排水横主管150Aの許容流量を6.5l/sとして管径を算定する。なお合流部以降の二次横主管についてはSHASE-S2061に示されている通り150Aの許容流量を8.3l/sとする。



●関連リンク

-  2015. 6. 15 **新COREカタログ 2015**
-  2012. 5. 15 **最下階合流用脚部継手 LJS-K100×150**
-  DC 2 4



↑クリックでダウンロードセンター24のリンク